



方がつなぐ人と社会 美術の可能性

美術館という社会貢献のあり方/大原あかね 地域に根差した美術館におけるワークショップの可能性/降旗千賀子 被災者と被災地を支えるアートセラピー/塚本純久 「未来のおそうじ」を共通テーマに―ビルメンテナンスこども絵画コンクールとその活用/尾﨑貴之

まちに流れる日常の美術/菅沼緑 閉山のまちの生活古道具をモチーフに/本城義雄 テレジンの子どもたちの絵が遺したもの-生きる力と絵画教育/野村路子

新連載

巻頭言

実践美術教育と社会

金子善明

労研饅頭の社会史① 労研饅頭の誕生

猪原千恵

歌舞伎で生きる人たち⑦ 湯淺晶子

大原記念労働科学研究所

動の科学



巻頭言 俯瞰 (ふかん)

実践美術教育と社会

金子 善明 [元武蔵野美術大学]

板にカゼイン地、油彩,530mm×455mm(10号F),2018年

表紙デザイン: 大西 文子





美術がつなぐ人と社会 美術の可能性

美術館という社会貢献のあり方
地域に根差した美術館におけるワークショップの可能性
被災者と被災地を支えるアートセラピー [武蔵野美術大学大学院] 塚本 純久
「未来のおそうじ」を共通テーマに ビルメンテナンスこども絵画コンクールとその活用 [公益社団法人全国ビルメンテナンス協会] 尾崎 貴之
まちに流れる日常の美術 小さな町の「まちてくギャラリー」
閉山のまちの生活古道具をモチーフに 古道具がもつ芸術性と文化
テレジンの子どもたちの絵が遺したもの 生きる力と絵画教育

Graphic ディーセント・ワークを目指す職場 10 [見る・活動] (105) Series 労研饅頭の社会史(1) 労研饅頭の誕生 猪原 千恵 42 凡夫の安全衛生記 (34) 労研アーカイブを読む (46) Column 大原記念労働科学研究所セミナー再録 1 働き方改革に労働科学はどう対応するか BOOKS 『精神科医の話の聴き方 10のセオリー』 KABUKI 梅雨小袖昔八丈 髮結新三

実践美術教育と社会

感動は理屈ではないのだから。 ないし、言葉で理解するものでもない。 狭めることになりえる。感性は教えられ 重要であるが、それだけに偏ると視野を 美術教育で基礎技術を指導することは

を持って、 思わないだろうが、実は風景画である。 描けば、 形態を消せば全て抽象的になる。それを ドラム缶、ガード下のポスターの剥がさ グする。傷ついたガードレール、錆びた 視点の変え方を指し示すしかない。例え ーダー そして描いた人は、 れた痕跡等々、どんな場所も、接写して 抽象画は街にいくらでも落ちている。 人が多いが、視点を足元に向け、捜せば、 私のワークショップでは、皆でカメラ では、如何にするかといえば、意識させ、 抽象画は分かりにくいと思っている レスであることに気づくことにな 知らずに見た人は抽象画としか 街で抽象的風景をウォッチン 具象画と抽象画がボ

世界は輝いて見えてくる。 も意識して捜すことで、感性は開かれ、 り取ることをする。それは、風景の好き な部分を切り取るのと同じこと。 具遊びをやる。 はグループで、大きな紙に、自由に絵の 私の実践ワークショップで、 発見することの喜びがある。 その後、好きな部分を切 親子また そこに いずれ

> 最初の「ことば」として。 ての存在証明として、それは在る。 がまだ文字を持たない時代、人が人とし 太古の洞窟画にあると思っている。 と表現することが、それを象徴している。 いる。焼物の釉薬の流れを「いい景色だ 人は何故絵を描くのか。その答えは、 元来日本人は、抽象的センスは優れて 人類

時、 消され、閉じ込められた恐怖によるもの ているし、私の作画原点でもある。 は、 己の腸に描いた行為に他ならない。 描いたことであり、それは取りも直さず、 描いた行為は、地球の腸(はらわた)に ンの洞窟画を見学していてのこと。その 私がこのことに気づいたのは、 地球の奥深く、 私の描く行為と同質のものだと思っ 他の観光客に取り残されて、電気を 身の危険を冒してでも スペイ それ

まれた手形がある。その中に子供の手の洞窟の深くない場所には、黒い点に囲 キングするように。 に生きた証を残そうとする。 が子を抱く様が見えた気がした。人は届かぬ所に幼児の手形を目にした時、 動物がマー 人は常 親

あると。

あり、「ことば」は暗闇の中で輝く光で だ。これが、人類はじめの「ことば」で

がある。患者は、砂の敷かれた箱の中に 心理学者ユングの箱庭療法というもの

・『抽象画入門――視点が変わる気・『抽象画入門Ⅱ〈応用編〉考え方のヒントとその展開』彩流社、2の14年 元武蔵野美術大学 非常勤講師かねこ よしあき

よい。 出すことで自己治癒する。 好きな小物で自分の世界をくり返し作 れを黙って見守り、 環境を整えるだけで 療法師は、 そ h

うに楽しめれば最高ではないか。 にある。 上望まない方がよい。技術は捨てるため 無欲に手を動かし、白い紙が自分の世界 に染まっていく様を、子供の泥遊びのよ 形で吐き出すだけで、人は心が平になる。 ている。いずれも、自分の内側を見える !に固執すると小さくなる。 美術教育も、 捨てるのは容易ではない 箱庭療法と同じだと思っ それ以 が、

関係をよくする。 何ものにも囚われないことが、 社会と

1